マチイロ
スマホアプリ「マチイロ」で広報いせさきを配信中！
広報いせさきが多言語で読める「カタログポケット」配信中！

魅力ある高校生にインタビュー

明日へジャンプ No.214



自分自身と戦いつかんだ関東大会
走り抜いた３年間に悔いはない

伊勢崎商業高等学校　３年　保々（ほぼ） 拓也（たくや） さん

伊勢崎商業高校陸上競技部で１１０ｍハードルの選手として活躍する保々さんにハードルとの出会いを聞きました。

「中学３年生の時に所属していたクラブチームのコーチからハードルを勧められました。ハードルは練習を重ねることで自分自身の成長を実感できるため、さらに実力を付けたいと思い、市内でもハードルが強い伊勢崎商業高校に進学することを決めました」

ハードルの魅力に気づき、高校進学後はハードルに尽力することを決めた保々さんですが、入学後には大きな壁にぶつかったと言います。

「１年生の時は、ハードルの高さに対する恐怖心が拭えず、大会に出場することもできませんでした」

一時は種目を変えることも考えたという保々さんですが、入学時の志を貫き練習を重ね、２年生で大会に出場。３年生では、積み上げてきた努力が花開き、群馬県高等学校総合体育大会（県総体）で見事な結果を残しました。

「県総体では６位までの選手が関東大会へ出場することができます。他の選手の実力を考えると、関東大会出場は厳しいかもしれないとも思いましたが、自分と戦うことだけを考え、予選・準決勝・決勝と全てで自己ベストを出し、３位に入ることができました」

３位入賞は涙が出るほどうれしかったという保々さんは、関東大会でもさらに自己ベストを更新。しかし、最終目標としていた全国高等学校総合体育大会（インターハイ）への出場はかないませんでした。

「インターハイには出場できませんでしたが、自分にできることは全てやりました。悔いはありません」

真っすぐにそう語る保々さんの表情には、一切の曇りがありませんでした。



プロフィル

ほぼ・たくや

週５回の練習に加え、自宅では毎日ストレッチをするなど体のケアを欠かさない。これまで自身が多くのけがに悩まされてきた経験から、高校卒業後は大学に進学し、将来は柔道整復師として選手をサポートしたいと語る。

11月27日（金）にいせさきＦＭで放送します　●午前７時54分～　●午後１時25分～　●午後５時50分～

市公式インスタグラムを紹介

問　商工労働課（☎27－2755）
企業誘致課（☎27－2756）

【公式】伊勢崎市商工労働課×企業誘致課

地元企業の魅力をPRするための動画などを掲載しています。

▲インスタグラム

今月のインフォメーション

本市の人口（2026年10月１日現在）

■人口　210,816人（前月比－19）
■世帯数　98,940戸（前月比+100）

市税の納期

国民健康保険税（普通徴収）　５期
納期限は11月30日（月）です

問　収納課（☎27－2723）

■廃棄する場合は「雑古紙」としてリサイクルしてください
発行■伊勢崎市 ☎0270－24－5111 FAX 0270－23－9800 〒372－8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410番地 URL https://www.city.isesaki.lg.jp
編集■広報プロモーション課　印刷■第一印刷株式会社　毎月１日発行